



Portrait

ポートレート

ごとうりゅうたろう
後藤隆太郎君 法学部政治学科3年 世界ジュニア柔道選手権大会男子100kg級優勝
リオ五輪出場を目指しながら、柔道と学業を両立させる

昨年10月の世界ジュニア大会で優勝。日本が低迷する100kg級での優勝は快挙だ。中学3年の全国大会で準優勝。多くの誘いを断り、「勉強もしっかりやりたい」と慶應義塾高等学校に進学。国体少年男子の神奈川県優勝に貢献し、高3のインターハイでは個人3位に。義塾体育会柔道部に所属。「柔道部の魅力は、部員がメニューを決める自主的な練習を通じて、厳しく切磋琢磨し合うところ」。得意技は内股、技の切れは鋭い。ジュニアで世界一になったことで、シニアの強化選手に指定された。世界選手権、さらにリオデジャネイロ五輪出場を射程に入れながらの今後の課題は、筋力をより強化すること。そして勉強との両立。将来は「柔道に限らず、社会に貢献できる人間になりたい」